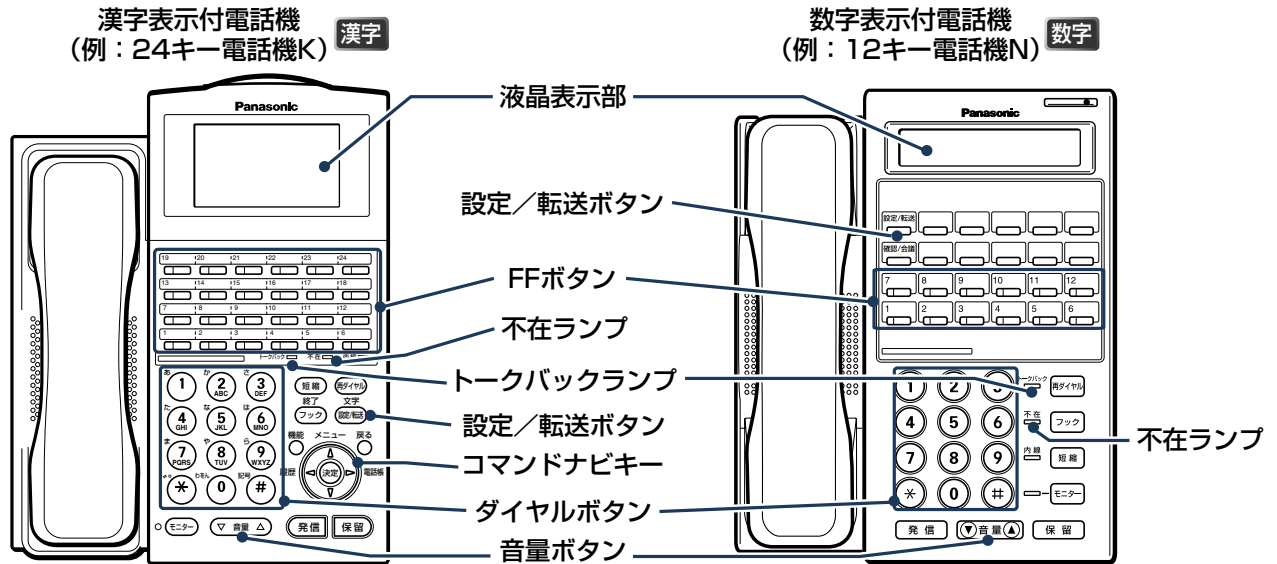
Panasonic

IP-Digaport J II / IP-Digaport X II

操作早見表

インテリジェントコミュニケーションシステム
IP-Digaport J II／IP-Digaport X II
漢字表示付電話機／数字表示付電話機
品番　VB-F411KA/VB-F611KA/VB-F611KPA/VB-F411NA

●詳しくは、IP-Digaport J II／IP-Digaport X IIの取扱説明書をご覧ください。

※各操作は漢字表示付電話機のボタンの図で説明します。

音量の調節

[▽ 音量 △]　[▽]：音が小さくなる　[△]：音が大きくなる　漢字　数字

通話音量を調節する	通話中に [▽ 音量 △] で音量を調節できます。
モニター音量を調節する	モニター中にスピーカーからの音量を [▽ 音量 △] で調節できます。 待ち受け中に調節するには [モニター] ➡ [▽ 音量 △] ➡ [モニター]
着信音量を調節する	着信中に [▽ 音量 △] で音量を調節できます。設定により外線からの着信音量と内線からの着信音量を個別に調節することもできます。☞取付け時設定 待ち受け中に調節するには 外線からの着信音量：[モニター] ➡ [設定/転送] ➡ (9)(1) ➡ [▽ 音量 △] ➡ [モニター] 内線からの着信音量：[モニター] ➡ [設定/転送] ➡ (9)(2) ➡ [▽ 音量 △] ➡ [モニター]

ランプについて

漢字　数字

トークバックランプ	内線トークバック設定時、赤色に点灯します。内線トークバックを設定することにより、内線音声呼出に対して受話器を取らずに応答できます。 設定／解除：[モニター] ➡ [設定/転送] ➡ (9)(3) ➡ [モニター] ●漢字表示付電話機の場合、システム機能、または電話機機能から設定することもできます。
不在ランプ	不在設定、または不在転送設定時、赤色に点灯します。 不在設定の設定／解除：[モニター] ➡ (8)(0)(1) ➡ [モニター] 不在転送の設定：[モニター] ➡ (8)(0)(3) ➡ 転送先の内線番号 ➡ [モニター] 不在転送の解除：[モニター] ➡ (8)(0)(4) ➡ [モニター] ●漢字表示付電話機の場合、システム機能、または電話機機能から設定することもできます。

外　線

漢字　数字

電話をかける	受話器を取ってかける	→ 発信 → 電話番号 →[通話] → ● 発信 の代わりに マルチライン を押して電話をかけることができます。 取付け時設定
	受話器を取らずにかける	発信 → 電話番号 → 相手応答後 → [通話] →
	電話番号を確認してからかける（プリセットダイヤル）	電話番号 → 発信 → → [通話] → ●電話番号を間違えたときは フック を押してください。
	最後にかけた相手にかけ直す（再ダイヤル）	再ダイヤル → 発信 → → [通話] →
電話を受ける		呼出音（着信ランプ点滅）→ → [通話] →
保　留	システム保留	〈通話中〉 → 保留 → → 通話に戻るとき → 保留していた 外線 → [通話]
	自己保留設定時 取付け時設定	〈通話中〉 通話中の 外線 → → 通話に戻るとき → 保留していた 外線 → [通話]
転　送	口頭で取り次ぐ	転送する人 〈通話中〉 → 保留 → → 口頭連絡 ¦ 転送を受ける人 → 保留されている 外線 → [通話]
	内線を呼び出して転送する	〈通話中〉 → 保留 → 転送したい人の内線番号 → 内線通話 → 設定/転送 → ●設定により、内線通話のあと、受話器を戻すだけで転送できます。 取付け時設定
	一斉・特定のグループを音声で呼び出して転送する	転送する人 〈通話中〉 → 保留 → ＃ → グループ番号 0～9 → 音声で呼び出す →[内線通話]→ 設定/転送 → ●指定したグループ番号で呼び出される相手はあらかじめ設定しておく必要があります。 取付け時設定 転送を受ける人 → ＃ → ＃ →[内線通話]→ 転送する人が 設定/転送 を押すと [通話]

内　線

漢字　数字

電話をかける	内線を呼び出す（内線信号音呼出）	または モニター → 内線番号 → [通話] →
	音声で呼び出す（内線音声呼出）	→ 内線番号 → 1 →呼びかける → [通話] →
	内線番号を確認してからかける（プリセットダイヤル）	内線番号 → → [通話] → ●電話番号を間違えたときは フック を押してください。
	最後にかけた相手にかけ直す（再ダイヤル） 取付け時設定	再ダイヤル → →[通話] →
電話を受ける		呼出音または音声（着信ランプ点滅）→ → [通話] →
保　留		〈通話中〉 → 保留 → → 通話に戻るとき → 保留 → [通話]
転　送	口頭で取り次ぐ	転送する人 〈通話中〉 → 保留 → → 口頭連絡 ¦ 転送を受ける人 → ＊ → 6 → [通話]
	内線を呼び出して転送する	〈通話中〉 → 保留 → 転送したい人の内線番号 → 内線通話 → 設定/転送 →
一斉・特定のグループを音声で呼び出す	呼び出す	→ ＃ → グループ番号 0～9 →音声で呼び出す → [通話] → 一斉・グループ呼出番号 0 一斉呼出 1 第1グループ～ 9 第9グループ ●指定したグループ番号で呼び出される相手はあらかじめ設定しておく必要があります。 取付け時設定
	受ける	音声 → → ＃ → ＃ → [通話] →

液晶表示部について 漢字

液晶表示部の角度、およびコントラストを調節することができます。数字表示付電話機では利用できません。

角度を調節する	液晶表示部の角度を任意の角度で調節できます。
コントラストを調節する	待ち受け中に 機能○ を押す ➡ で調節する

コマンドナビキーについて 漢字

漢字表示付電話機ではコマンドナビキーを操作することにより、電話帳や履歴から電話をかけたり、あらかじめ登録した機能を利用したりすることができます。
数字表示付電話機ではコマンドナビキーを利用できません。

ボタン表記＼状態		待ち受け中	メニュー項目選択時
◎	上を押す	メニュー画面を表示	1行上の項目を選択（カーソル※1※2が移動）、1行目の場合、前の画面へ移動
◎	下を押す	―――――	1行下の項目を選択（カーソル※1※2が移動）、最終行の場合、次の画面へ移動
◎	左を押す	履歴画面を表示	前のページへ移動
◎	右を押す	電話帳検索画面を表示	次のページへ移動
決定	真ん中を押す	メニュー画面を表示	項目を確定
◎		表示画面に応じて ◎、◎、◎、◎ を押し、画面の移動や項目を選択。	
機能○		―――――	サブメニュー画面へ移動
戻る○		―――――	前の画面に戻る

※1：カーソルとは、メニューなどに表示される「■」のことをいいます。
また、「■」は、その項目が選択されていることを表します。

※2：◎ を約1秒以上押すと、電話帳検索画面の電話帳データ表示と、発着信履歴画面の履歴データ表示の場合のみ1行ずつ連続してカーソルがスクロールします。
スクロールの速さは変更することができます。☞ 取付け時設定

検索して電話をかける 漢字

外線電話帳（共通短縮ダイヤル）／内線電話帳

1 待ち受け中に ◎ または 決定 を押す

2 ◎ で「外線電話帳」（または、「内線電話帳」）を選択し、決定 を押す

3 検索したい文字をフリガナ、英数字で入力し ◎ または 決定 押す

4 ◎ で電話をかけたい相手を選択し、決定 を押す

5 発信 を押し、（内線電話帳の場合、）

外線電話帳
個人短縮ﾀﾞｲﾔﾙ
内線電話帳
ｼｽﾃﾑ機能

➡

＊ 外線電話帳検索 ＊
検索したい文字を
入力してください
【▮　　　】

➡

青木
秋山
石塚
上野

➡

ﾒﾓﾘｰNo. 0010
ｱｵｷ
青木
0451234567

➡

- 手順2のあとで 機能○ を押すと、押す回数により別の検索方法に切り替えることができます。
- 手順3で検索したい文字を入力時、設定/転送 を押すと入力モードを切り替えることができます。
- 設定により、手順2で表示される検索画面を変更することができます。☞ 取付け時設定

個人短縮ダイヤル

1 待ち受け中に ◎ または 決定 を押す

2 ◎ で「個人短縮ダイヤル」を選択し、決定 を押す

3 ◎ で電話をかけたい相手を選択し、決定 を押す

4 発信 を押し、

外線電話帳
個人短縮ﾀﾞｲﾔﾙ
内線電話帳
ｼｽﾃﾑ機能

➡

青木
赤坂
伊野
個人 83

➡

短縮No. 80
ｱｵｷ
青木
0451234567

➡

履歴から電話をかける／履歴を確認する 漢字

発信履歴／着信通話履歴／着信不応答履歴から相手を選択し、電話をかけることができます。

1 待ち受け中に ◎ または 決定 を押す

2 ◎ で「発信履歴」（または、「着信通話履歴」、「着信不応答履歴」）を選択し、決定 を押す

3 ◎ で電話をかけたい相手を選択し、決定 を押す

4 発信 を押し、

外線電話帳
個人短縮ﾀﾞｲﾔﾙ
内線電話帳
ｼｽﾃﾑ機能

01: 8月 6日10:30
青木
02: 8月 6日 8:45
0450000000

➡

01: 8月 6日10:30
青木
0451234567

➡

- 手順3で相手を選択し、機能○ を押すと、履歴を個人短縮ダイヤルに登録したり、履歴を削除することができます。
- 履歴を確認する場合、手順1～手順3を行ってください。フック を押すと待ち受け画面に戻ります。

個人短縮ダイヤルに登録する

漢字

コマンドナビキーからの操作で個人短縮ダイヤルに登録することができます。

1 待ち受け中に(ナビキー)または(決定)を押す

外線電話帳
個人短縮ダイヤル
内線電話帳
システム機能

➡

2 (ナビキー)で「個人短縮ダイヤル」を選択し、(機能)を押す

1：短縮ダイヤル登録
2：全件削除

➡

3 (決定)を押す

短縮No.
1：名ー
2：カナー
3：TELー

➡

4 (ナビキー)で登録したい項目を選択し、(決定)を押し、入力する

- 入力終了後、(決定)を押してください。
- 登録したい項目ごとに手順**4**を繰り返してください。

5 (機能)を押し、短縮番号(⑧⓪～⑨⑨)を入力する

短縮ダイヤル登録します
短縮番号を
指定してください
80

➡

6 (決定)を押す

登録しました

機能を利用する

漢字

あらかじめ登録したシステム機能／電話機別機能をコマンドナビキーで選択し、利用することができます。

1 待ち受け中に(ナビキー)または(決定)を押す

➡

2 (ナビキー)で「システム機能」(または、「電話機別機能」)を選択する

➡

3 (決定)を押す

➡

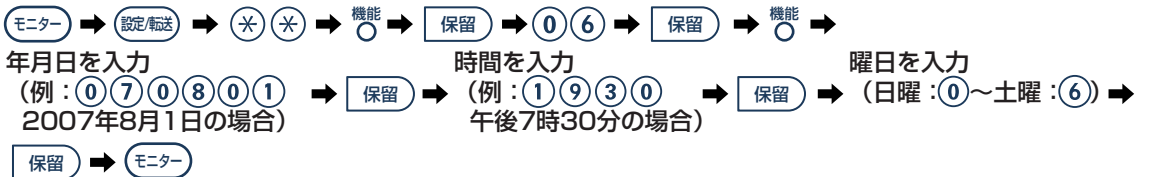
4 (ナビキー)で利用したい機能を選択し、(決定)を押す

- 利用する機能によって、コマンドナビキーでの操作の前後に(モニター)を押す操作などが必要です。
- 内線呼出中、話し中、通話中にも機能を利用できます。それぞれ利用できる機能は異なります。
- 詳細はIP-DigaportJⅡ/IP-DigaportXⅡの取扱説明書をご覧ください。

指定電話機 取付け時設定

漢字

漢字表示付電話機の中でシステム全体に関わる設定操作を行うことのできる電話機を指定電話機と呼びます。
指定電話機では以下の設定等ができます。数字表示付電話機を指定電話機とすることはできません。

日時設定	待ち受け時に液晶表示部に表示されているカレンダー・時刻の変更ができます。 (モニター) ➡ (設定/転送) ➡ ⊛⊛ ➡ (機能) ➡ (保留) ➡ ⓪⑥ ➡ (保留) ➡ (機能) ➡ 年月日を入力（例：⓪⑦⓪⑧⓪①　2007年8月1日の場合） ➡ (保留) ➡ 時間を入力（例：①⑨③⓪　午後7時30分の場合） ➡ (保留) ➡ 曜日を入力（日曜：⓪～土曜：⑥） ➡ (保留) ➡ (モニター)

その他にも、指定電話機からいろいろな設定ができます。詳細は取扱説明書の「指定電話機での設定」をお読みください。

夜間切替	昼間と夜間で外線を受ける電話機を切り替えることができます。
外線電話帳登録	外線電話帳を登録しておくと、名前を検索して電話をかけることができます。登録した相手から電話を受けた時の着信先や着信音などを指定することもできます。
内線電話帳登録	内線番号に名前を登録しておくと、名前を検索して電話をかけることができます。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品番	
販売店名	電話（　　）　-		
お近くの販売会社	電話（　　）　-		

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まず**お買い上げの販売店**へお申し付けください。

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
オフィスネットワークカンパニー
〒153-8687　東京都目黒区下目黒二丁目3番8号　電話（03）5719−3694

A0906-3038
PSQF1032WA